

「PRO-CTCAE をどう生かすか

～患者視点の応用・医療現場での応用～

公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンターは研究者主導の臨床研究を支援しています

開催日時 : 2019年6月22日(土) 13:00～17:20 受付開始 12:15～

開催場所 : 東京大学医学部教育研究棟 14階 鉄門記念講堂

参加費用 : 企業 10,000円(税込) / アカデミア 5,000円(税込)

学生, 患者さん, 患者支援団体の方 3,000円(税込)

※参加費は当日受付にてお願いいたします ※学生の方は当日学生証をご提示ください

我が国でもようやく患者視点の医療あるいは臨床研究という言葉が使われるようになってまいりましたが、研究・診療いずれの取り組みも未成熟です。当財団ではHOR(ヘルスアウトカムリサーチ)支援事業として、CSP-HOR年会を開催してまいりました。今年、米国NCIが開発し日本語版も利用可能となっている、患者による有害事象報告CTCAEの紹介と臨床応用を中心に講演を企画しましたが、米国NIHが開発した(しかし日本語訳が進んでいない)包括的QOL指標PROMISの紹介も含めました。

このPROMIS翻訳やまだまだ我が国では臨床応用が普及していないePRO(電子的収集によるPatient Reported Outcome)実装など、QOL/PRO評価に関する我が国の学術レベル向上と実務面での普及を図るため、公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンターを中心として、この分野の専門家を集結したコンソシウムを構築することを企画してまいりました。関係者間の合意がほぼできつつあることから、今回の年会ではその目的・組織・計画について概要を発表させていただくことといたしました。運営資金は主に企業からの協賛金に依存することとなりますが、本年会や研究会の開催・企業へのコンサルテーション以外に、共同利用できるシステム開発や、共同利用可能なデータベース構築、新しい調査票の開発支援も活動の視点に含めております。ぜひ皆様方のご意見を承りたいと思いますので、年会・懇親会へ奮ってご参加ください。

ヘルスアウトカムリサーチ支援事業(CSP-HOR)運営委員会
委員長 大橋 靖雄(中央大学 理工学部 人間総合理工学科)

【情報交換会】

時間 : 17:30～19:00

会場 : 『カポ・ペリカーノ』

会費 : 2,000円(税込)

※会費は年会受付時に
徴収いたします

※CSP-HOR年会に
『企業』区分にて
ご参加いただく方は、
情報交換会の会費は
不要となります

【お問い合わせ】

公益財団法人
パブリックヘルスリサーチセンター
ヘルスアウトカムリサーチ支援事業
(CSP-HOR)事務局

〒169-0051

東京都新宿区西早稲田 1-1-7

TEL : 03-5287-2636

FAX : 03-5287-2634

E-mail : info@csp.or.jp

後援 : 一般社団法人日本臨床試験学会
QOL/PRO 研究会

国際医薬経済・アウトカム研究学会(ISPOR)日本部会
認定NPO法人キャンサーネットジャパン

お申込み受付 5月17日(金)～6月20日(木) お申込みは 下記のURLよりお願いします

第13回 CSP-HOR 年会プログラム (13:00-17:20)

「PRO-CTCAE をどう生かすか ～患者視点の応用・医療現場での応用～」

【第1部】 司会：大橋 靖雄（中央大学 理工学部 人間総合理工学科）

13:00-13:30	RESPECT 試験における 高齢者総合機能評価	川原 拓也 東京大学医学部附属病院 臨床研究支援センター
	※RESPECT とは…：HER2 陽性の高齢者原発性乳がんに対する術後補助療法におけるトラスツズマブ単剤と化学療法併用に関するランダム化比較試験。トラスツズマブ単剤という抗 HER2 療法の治療選択肢を増やす、高齢者の適切な治療を模索するという目的にて行われました。	
13:30-14:10	PROMIS [®] の紹介と現状	大石 剛子 認知症介護研究・研修東京センター
	※Patient Reported Outcomes Measurement Information System (PROMIS [®])とは： 米国で開発された PRO 評価システムで、健常者を含む様々な健康状態の人が回答できる。測定手法には回答項目数が固定される方法以外に、コンピュータ適応型テスト（CAT）を用い各回答者の状態に適した少数の項目で評価する方法もある。現在、日本語版を含め他言語版の開発が進行中です。	
14:10-14:50	PRO-CTCAE の紹介	山口 拓洋 東北大学大学院医学系研究科 医学統計学分野
14:50-14:55	QOL-PRO の啓発・研究のための コンソーシアム設立について	大橋 靖雄 中央大学 理工学部 人間総合理工学科
14:55-15:10	< 休 憩 >	

【第2部】 司会：下妻 晃二郎（立命館大学 生命科学部 生命医科学科）

15:10-15:50	QOL/PRO 観察研究の実例	岩谷 胤生 国立がん研究センター東病院 乳腺外科
15:50-16:20	ePRO への期待（仮題）	近藤 俊輔 国立がん研究センター中央病院 肝胆膵内科/先端医療科
16:20-17:00	EORTC 尺度開発に関する プロジェクトについて	木川 雄一郎 神戸市立医療センター中央市民病院 乳腺外科
17:00-17:20	< 質疑・応答 >	

情報交換会

17:30～19:00

東京大学医学部研究棟 13 階 『カポ・ペリカーノ』

会費：2,000 円(税込)

CSP-HOR 年会に『企業』区分にてご参加いただく方は、会費は不要となります

お申込み受付 5月17日(金)～6月20日(木) お申込みは 下記の URL よりお願いします



公益
財団法人

パブリックヘルスリサーチセンター

Public Health Research Foundation

<http://www.csp.or.jp/hor/nenkai/13/>